

第1整備補給隊

第1航空機整備隊

第1航空機整備隊について

第1航空機整備隊は、航空機整備班・発動機班・電機計器班・機体班の4つの班で構成されており、主に鹿屋航空基地に所属する航空機の維持整備・点検を行う部隊です。航空機の専門的な点検整備等を行い、可動航空機の確保に努めています。



航空機整備班

航空機整備班は、発動機班、電機計器班、機体班の整備業務計画を統括、管理すると共に、整備業務に必要な工具や油脂類等の管理及び計画を作成する等、現場の整備員が整備業務を円滑に行える環境づくりを実施しています。また、隊員の人事管理業務も航空機整備班が担当しています。

発動機班

発動機班は、固定翼機整備と回転翼機整備に分かれており、固定翼機整備ではP-3C航空機のエンジンの点検整備や試運転の実施、プロペラの点検整備と作動テストをしています。回転翼機整備では、SH-60K航空機とTH-135航空機のエンジンの点検整備と試運転を実施しています。



電機計器班

電機計器班は、主に航空機のバッテリー、発電機等の電機系統や、速度計・高度計等の計器系統の機器を整備しています。

写真はSH-60K航空機の発電機の試験を実施しているところです。

機体班

機体班は、航空機の板金、油圧機器の検査、タイヤの組替え及び探傷検査を実施しています。

写真はP-3C航空機の油圧ブレーキ整備の様子です。高圧力から低圧力まで様々な圧力をかけて、機能に不具合がないかを検査しています。

